

京田辺市産業振興ビジョン（素案）に係るパブリックコメントの実施結果

パブリックコメントの概要

1. 意見募集期間 平成27年12月4日（金）から平成28年1月5日（火）
2. 意見募集対象者 市内に在住、通勤、通学する人、市内に事務所・事業所を有する個人、法人
3. 意見募集方法 閲覧場所にある意見募集用紙（ホームページからダウンロード可）を持参または郵送、ファックス、Eメールによる
4. 意見提出者 6名（持参5名、Eメール1名）
5. 意見の数 25件
6. 対応状況

区分	件数
A：計画に追加、または修正するもの（追加修正）	1
B：計画に趣旨を記載済みのもの（趣旨記載）	17
C：計画の実施段階で参考とするもの（参考）	1
D：その他（その他）	6
合計	25

京田辺市産業振興ビジョン（素案）に係るパブリックコメントの実施結果

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ビ</div> : ビジョン <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア</div> : アクション プラン
1	計画全般	<p>アクションプランの年次計画表に、新規事業については、新規であることをはっきり明記し、評価・点検時においても重点項目であることも表記すべきだと思う。</p>	<p>事業により、完全な新規事業と内容を大きくリニューアルする新規に近い事業などがあり、明確に分類することは困難です。</p> <p>また、アクションプランに掲載している事業については、ビジョンの実現のため、特に重要であると判断した重点事業のみを掲載しています。</p>	D：その他	—
2	計画全般	<p>数多くの事業計画が盛り込まれていますが、十分実施内容を検討し、計画倒れにならないように、各関係者との協議、打ち合わせを綿密に行ない、各個々の対応ではなく、必ず連携をした取り組みになるように進めてほしい。</p>	<p>計画に記載されている事業については、市民、関係機関、各種団体等の協力が不可欠であるため、ビジョンや具体的な事業計画について周知を図るとともに、十分に連携を取って進めていきたいと考えています。</p>	D：その他	—

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <input type="checkbox"/> ビ: ビジョン <input type="checkbox"/> ア: アクション プラン
3	計画全般	<p>市民向けの各種情報発信について、市民に分かりやすいものにして下さい。</p> <p>(補足意見書より：(前略) 各計画案の実現に向けては、各種団体や行政だけでなく、市民の協力も不可欠ではないかと思えます。そのためにも、市民向けの情報提供、また市民の意見を聞く広聴活動にも十分配慮願ひ、市民の意見を取り上げられるような形で進めていただきたい。特に、市民向けの情報提供・発信方法また広聴活動については、市民にもよく分かるように、十分検討し、取り組んでいただきたいと思う。(後略))</p>	<p>実施する事業はもちろん、ビジョンの進捗状況についても、ホームページ等の媒体を活用し、情報発信及び市民、事業者のみなさまからの意見収集に努めていきたいと考えています。</p>	D：その他	—
4	計画全般	<p>京田辺市産業振興ビジョンの進捗状況の見える化（HP等を通じて）</p>	<p>ビジョンの進行管理段階において、実施、点検、検証・評価、改善を行い、評価結果報告書を取りまとめホームページ等で毎年度公表することとしています。</p>	B：趣旨記載	<input type="checkbox"/> ア P4

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <input type="checkbox"/> : ビジョン <input type="checkbox"/> : アクション プラン
5	農業	<p>P21 の農業者が求める農業振興施策（農業者アンケート）結果の中では「ほ場、農道、用水、排水などの農業基盤の充実」が1位を占め、その割合も群を抜いている結果が出ています。しかし、P28の目指すまちの姿・北部の将来では、ほ場整備が進んでいる地域との認識です。北部をはじめ市内にはまだまだ未整備地域が多く残されています。アンケート結果は反映されているのでしょうか？</p> <p>素案では、担い手育成や農地有効活用に向けた流動化の推進、共同化法人化支援などが示されていますが、いずれもソフト面の施策と考えます。</p> <p>これらの施策も重要ですが、これら施策を進める前提としてアンケート結果のトップ項目にもあるように、農業基盤の充実のうえにソフト施策を進めることが重要と考えます。市内の農地全体における整備率は何%でしょうか？</p> <p>将来の農業振興は、市内のほ場基盤の充実整備が急務であり、最重要施策と考えますが・・・市発展の基盤となった新田辺駅前・三山木地区の土地区画整理事業と同じように・・・</p>	<p>農業の振興にあたって、ソフト面だけでなくハード面の充実も重要と考えます。ほ場整備の実施について、各地域で取り組まれてきましたが、農地に対する資産的意識が強い事や市外所有者が多い事から換地を伴う場合の受益農家所有者全員の合意形成が得にくいことや、農地所有者からの負担金の徴収の必要があることなどが反対理由となり、進んでいません。市は、引き続き、各地域が主体となって実施する農業基盤整備事業を支援していきたいと考えています。</p> <p>ほ場整備率 29.2%</p>	D：その他	—

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <input type="checkbox"/> ビ: ビジョン <input type="checkbox"/> ア: アクション プラン
6	農業	玉露等のブランド産地の発信力強化及び販売力強化	玉露等の京田辺市産農産物の発信力強化及び販売力強化を実施することとしています。	B: 趣旨記載	<input type="checkbox"/> ビ P31 <input type="checkbox"/> ア P8 基本方針 2(1)① P9(1)② (2)(3)
7	農業	農作物の販売店の充実(みちの駅等)←近時、農作物の産直販売が賑わっている。	農産物直売所の事業を支援する中で農産物の販路の確保、拡大への取組を実施することとしています。	B: 趣旨記載	<input type="checkbox"/> ビ P31 <input type="checkbox"/> ア P9(1)②
8	商業 観光	街バルはもうしないのでしょうか?	一休バルは、市内外の住民に市内の飲食店等を知ってもらおうと、商工会と観光協会がこれまで3回開催され、市も支援してきました。現在は休止されていますが、同様の趣旨の商業活性化施策として、商工会が取り組む店舗の魅力発信事業である「まちゼミ」等を支援することとしています。	B: 趣旨記載	<input type="checkbox"/> ビ P35 <input type="checkbox"/> ア P14(3)③

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <input type="checkbox"/> ビ: ビジョン <input type="checkbox"/> ア: アクション プラン
9	商業	<p>○小規模企業への振興策について</p> <p>平成26年6月に公布された小規模企業振興基本法では、地方公共団体においても小規模企業振興に関する施策を策定・実施する責務が明記されるとともに、小規模企業の振興に関する施策があまねく全国において効果的かつ効率的に実施されるよう国、地方公共団体等は、相互に連携を図りながら協力するよう努めなければならないと規定されています。(同法第7条及び第9条)。</p> <p>本計画においては小規模企業への特段の振興策等の記載がなく、同法の趣旨からも小規模事業者に対してどのような方針で臨み、どのような施策を考えていくべきなのかを本ビジョンに明記すべきと考えます。</p>	<p>中小企業、とりわけ多数を占める小規模企業が地域経済における重要な担い手である認識のもと、法の基本原則である事業の持続的な発展を図られるよう小規模企業振興に努めていく必要があると考えており、その旨を追記いたします。</p> <p>具体的な施策については、商工会を通じた経営支援、融資保証料・利子補給金など経営基盤となる支援のほか、製品開発・販路開拓・人材確保事業等への補助金など、新たな事業展開への支援施策をアクションプランに記載しているところです。</p> <p>〈案修正〉【ビジョン P20】</p> <p>事業者の事業上の課題は、人材確保、新規顧客の獲得が2大課題となっています。<u>特に、新規顧客の獲得においては、小規模企業でその意識が高くなっており、新たな需要にきめ細かく対応できる小規模企業の特徴を生かし、事業の持続的発展と新たな事業展開が図られるよう重点的に支援していく必要があります。</u></p>	A: 追加修正	<input type="checkbox"/> P20 <input type="checkbox"/> P12(1)① (2)②③ P13(2)②③

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <input type="checkbox"/> ビ: ビジョン <input type="checkbox"/> ア: アクション プラン
10	商業 工業	○新しい事業者の誘致について 京田辺市には同志社大学があり、多様な若者が本市を知る機会があり、卒業後本市で起業就職できるための誘導策を設けることが必要と考えます。折角の優れた人材を本市で活躍できるように受け皿が必要です。単に、工業系のみならず商業系、サービス業でも京田辺で開業したい、就職したいと思えるような施策が必要と考えます。	商業、工業の新しい担い手の確保と育成として、チャレンジショップの開設や創業相談窓口の開設、D-egg を核とした起業家育成と卒業企業の市内立地誘導など様々な施策を展開することとしています。	B: 趣旨記載	<input type="checkbox"/> ビ P34、38 <input type="checkbox"/> ア P12(3)① P16(3)①②
11	商業 工業	起業化育成強化→企業市内立地強化策	D-egg を核とした起業家育成と卒業企業の市内立地誘導を進めることとしています。	B: 趣旨記載	<input type="checkbox"/> ビ P38 <input type="checkbox"/> ア P16(3)②
12	工業	市内製造業等の魅力発信、連携強化	市民が企業を知る機会、企業同士が知り合う機会の創出のほか、市内複数企業が連携した製品開発の支援や近隣地域の企業も含めた商談交流会開催などに取り組むこととしています。	B: 趣旨記載	<input type="checkbox"/> ビ P38、39 <input type="checkbox"/> ア P16(1)① (2)① P17(1)①

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ ビ: ビジョン ア: アクション プラン
13	商業 工業	行政として、最大限の努力はされているとは思いますが、核となる大企業が少なく、物流網の良さを活かした積極的な企業誘致による活性化が必要と感じます。	新たな事業用地の創出と既存工業地域における未利用地活用を促進し、京都府等と連携した地域経済への波及効果の高い企業の誘致を進めることとしています。	B: 趣旨記載	ビ P40 ア P18(2)②
14	観光	ツアーオブジャパンの関係事業として、自転車観光のマップの作成と配布とあるが、市内の自転車で回遊できる安全な道路環境整備等の取り組みや市内の店舗利用時の自転車駐輪設備設置等の対策が必要ではないか。 市内を自転車で安全に快適に楽しく走れる環境整備こそが、自転車観光が目玉になるかどうか、その鍵を握っている。 自転車観光面からみて、現在の道路環境はどうか十分調査・検討し、今後の観光計画を練っていただきたい。	普賢寺地域ではツアー・オブ・ジャパン開催に向け、自転車ラックを設置するなど、自転車ユーザーに配慮した店舗運営が見受けられます。 今後は市内店舗にさらにご協力いただける取組を検討していきたいと考えています。また、木津川サイクリングロードと新たに加わるツアー・オブ・ジャパンのコースについては、ご意見を参考に、市内交通状況の調査を行いながら、自転車観光に向けた取組を進めていきたいと考えています。	C: 参考	ビ P42 ア P20(1)④ P21(3)
15	観光	ツアーオブジャパンを定着させ、京田辺市をPR及び自転車愛好家に魅力ある町づくり	ツアー・オブ・ジャパン開催当日のにぎわいづくりや自転車観光マップを作成することとしております。	B: 趣旨記載	ビ P42 ア P20(1)④

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ ビ: ビジョン ア: アクション プラン
16	観光	宿泊施設がなくては、観光客も日帰りに限定され、大型ショッピングセンターと呼べる場所もなく、集客できる核の施設の誘致も必要かと。	宿泊施設が持つ地域経済や観光面への波及効果は大きいものと考えており、市内遊休地等への宿泊施設立地可能性の調査、誘導に取り組んでいくこととしています。	B: 趣旨記載	ビ P42 ア P21(3)①
17	観光	市の代表する観光地がどこなのかがわかりにくい。訪問して「また来よう」と言うリピーターに繋がるものを作ってみては?	新たな資源を生かした目玉となる観光商品の確立として、「お茶を感じられるまち京田辺」のPR、「ツアー・オブ・ジャパン」をきっかけとした観光に向けた取組を行うこととしています。	B: 趣旨記載	ビ P42 ア P20(1)① ②④
18	観光	魅力的な企業が多いのだから、「工場見学ツアー」などで市へ足を運んでもらうきっかけを作ってほしい。	体験・体感できる工場見学ツアーを新たな産業観光メニューとして開発していくこととしています。	B: 趣旨記載	ビ P42 ア P20(2)①
19	連携	○農業と商工業との連携 農業生産者にとって最も大きな悩みは価格の変動が大きいことであると考え、流通業者と連携することで安定した価格が見込まれます。このためにいわゆる6次産業化が大切であり、商工業者のもつノウハウを農業者に活用できるような仕組みづくりが大切だと思います。	農業者と地元飲食店や商業者との連携による京田辺市産農産物の新たな消費の創出に取り組んでいくこととしています。	B: 趣旨記載	ビ P31 ア P9(3)

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ ビ: ビジョン ア: アクション プラン
20	その他	同志社大学等との連携強化	同志社大学等の研究成果や学研都市研究施設と連携した企業の事業高度化促進に取り組んでいくこととしています。	B: 趣旨記載	ビ P39 ア P17(2)①②
21	その他	市内にJR、近鉄の駅が合計9駅あるとは言え、一部を除いて、駅前整備が遅れており、みすぼらしい印象を受けます。地域の活性化を図るなら、この辺りに先行投資も必要でしょう。	市のまちづくりとして、北部（松井山手駅周辺）、中部（京田辺駅・新田辺駅周辺）、南部（JR・近鉄三山木駅周辺）を核となるエリアに位置づけ重点的に整備を進めてきました。今後も、商業振興施策を通じて地域の特性に応じた活性化に取り組んでいくこととしています。	B: 趣旨記載	ビ P28、29、37 ア P15(1)
22	その他	交通が不便→レンタサイクル、レンタバイクの充実	大阪、京都の主要都市への交通アクセスが良好であるのに比較して、市内交通が不便であることは課題であり、通勤や買い物環境の利便性向上に向けた取組を進めていくこととしています。	B: 趣旨記載	ア P15(1)④ P18(1)③
23	その他	JR、近鉄と市内に駅は多いが本数が少なく、バスとの乗り継ぎも不便。	大阪、京都の主要都市への交通アクセスが良好であるのに比較して、市内交通が不便であることは課題であり、通勤や買い物環境の利便性向上に向けた取組を進めていくこととしています。	B: 趣旨記載	ア P15(1)④ P18(1)③

番号	分類	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応区分	該当ページ <input type="checkbox"/> ビ: ビジョン <input type="checkbox"/> ア: アクション プラン
24	その他	<p>駅周辺以外の街灯が少ないため、日が暮れると暗い。307号線と山手幹線の道路は明るくあってほしい。</p>	<p>幹線道路等の安全、防犯対策は重要なものと認識していますが、本計画に記載することはなじまないものと考えます。</p>	D: その他	-
25	その他	<p>○建設業に関する振興策について 本ビジョンには建設業に関する事項がありません。建設業は本市においても一定の産業基盤があり、これを高度化することが求められると思います。建設業は、災害時等には大変重要な役割を果たします。現に、京都府北部では豪雪や水害時に復旧のために建設業者に依頼しようにも業者が廃業されて苦勞されたと聞きます。したがって、建設業関係についても本ビジョンのなかで一定の位置づけは必要と考えます。</p>	<p>本ビジョンは業種別に記載しているものではなく、業務の便宜上、分野として農業、商業、工業、観光の4分野に分けて記載しております。建設業も含め、多様な業種、事業者が強みを磨き、快適に事業活動を展開できることを念頭に置いており、具体的な各種施策や支援メニューも、業種問わず活用できる計画としています。</p>	D: その他	-